

加工・業務用キャベツを11月から5月に出荷する作型の適品種

11月から5月どりの各作型に適する品種を利用することで、品質の高い加工・業務用キャベツを出荷できる

背景・目的

- 本県では冬期温暖な気候を利用した加工・業務用の冬～春キャベツの生産量が伸びている
- 加工・業務用キャベツは、大玉で在圃性に優れ、内部障害の発生が少なく、カット野菜への加工後もボリューム感が損なわれず、ドリップが少ないものが求められている
- 加工・業務用キャベツ栽培の各作型に適した有望品種を選定し、継続的定質栽培技術を確立する

成果の内容

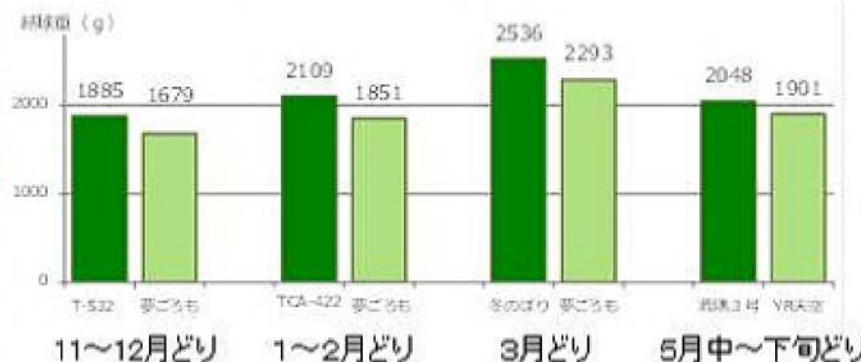
加工・業務用キャベツの各作型に適する品種

作型	品種名 (系統)	8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月	
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
11～12月 どり	T-532 (寒玉系中生種)	○							■												
1～2月 どり	TOA-422 (寒玉系中生種)	○											■								
	夢ごも (寒玉系晩生種)	○											■								
	夢舞台 (寒玉系中生種)	○												■							
3月 どり	YR選次郎 (寒玉系中生種)	○													■						
	青龍345 (寒玉系晩生種)																				
	冬ごも (寒玉系晩生種)	○	○																		
	冬のぼり (寒玉系晩生種)	○	○	○	○																
5月中～ 下旬 どり	若駒3号 (寒玉系中生種)							○				○									■
	おさな (寒玉系中生種)							○				○									■

○：播種期、◎：定植期、■：収穫期

導入メリット

適品種は既存品種よりも大玉で、収量増加を見込むことができる



注1) 各作型の既存品種は、「鹿児島県野菜適品種一覧表」より選定

注2) 参照データ：大隅支場秋冬野菜試験成績書より

11～12月どり；平成28年度、1～2月どり；平成26年度
3月どり；平成26年度、5月中～下旬どり；平成29年度

期待される効果

• 実需者ニーズに対応した加工・業務用キャベツの継続的安定生産と生産農家の経営安定

普及対象・範囲

加工・業務用キャベツ生産者